



SHADOWLIGHT PRODUCTIONS, 22 CHATTANOOGA STREET, SAN FRANCISCO, CA 94114 TEL: [415] 648 4461 FAX: [415] 641 9734

Press Contact
Sachiko Willis, Managing Director
(415) 648 4461; Sachiko@shadowlight.org

FOR IMMEDIATE RELEASE

《記》

サンフランシスコを本拠にする影絵劇団シャドウライト・プロダクションズ (ShadowLight Productions) が 来春早々下記の要領にて日米共同制作のオリジナル舞台作品「ポロ・オйна: アイヌラックル大伝 (PORO OYNA: THE MYTH OF THE AYNU)」を上演します。日米の第一線で活躍するアーティスト達が、影絵芸術を通してアイヌの神話世界を新たな表現で描き出すこの作品は、昨年11月に日本で初演し、高い評価を得ています。米国初演となる今回の公演ツアーが、日本の先住民であるアイヌの文化を多くの米国の観客に紹介し、国境を越えて現代社会とそのあり方の深層を見つめ直す機会となれば幸甚に存じます。

イベント名: ポロ・オйна: アイヌラックル大伝 (PORO OYNA: THE MYTH OF THE AYNU)

日 時: 2014年
1月15日(水) 7:30PM(プレビュー)
1月16日(木) 7:30PM (オープニング)
1月17日(金) 8PM
1月18日(土) 2PM & 8PM
1月19日(日) 2PM (最終公演)

会 場: フォート・メイソン・センター、サウスサイド・シアター
Southside Theater
Fort Mason Center, Building D
2 Marina Boulevard (at Buchanan Street), San Francisco, CA

主 催: シャドウライト・プロダクションズ (ShadowLight Productions),
www.shadowlightaynuproject.org/

助成・協力: Fort Mason Presents, National Endowment for the Arts, The Japan Foundation, The MAP Fund, The Saison Foundation; The Asahi Beer Arts Foundation; Asian Cultural Council

作品内容:

サンフランシスコで活躍する現代影絵芸術の先駆者ラリー・リードが、東京及び北海道を拠点とするアイヌ文化の担い手でトンコリ奏者のOKI(オキ)と、バリ伝統舞踊ダンサー、振付師、影絵アーティストの小谷野哲郎(コヤノ テツロウ)との3年に亘る国際協働作業で制作した「ポロ・オйна」は、アイヌの神話体系中で特に重要とされる「人神アイヌラックルの大伝(ポロオйна)」を土台にする。物語は、OKIのトンコリ演奏と、アイヌの伝統歌「ウポポ」で著名な女性ヴォーカルグループ、マレウレウの歌にのせて、アイヌ語、日本語、英語で語られる。ラリー・リードの演出によりアイヌ文化を結晶させた本作品は、札幌と東京での初演でも大好評を博した。

主要アーティスト略歴:

ラリー・リード (Larry Reed)

世界的にも稀なプロの影絵劇団シャドウライト・プロダクションズ(ShadowLight Productions)の設立者であり、演出家。インドネシア・バリ島で伝統的影絵をマスターし、それらのアイデアを組み合わせ独自につくりあげた影絵作品で米国内外の数々のフェスティバルに招聘されるなど、コンテンポラリー影絵劇のパイオニアとして活躍する。1995年および96年には、サンフランシスコ・ベイ・エリアで最も注目されるアーティスト50人に選ばれている。

シャドウライト・プロダクションズは1972年に設立され、バリの伝統的な影絵や現代影絵劇の上演から教育プログラム、影絵に関わるDVD制作などを手がけている。特にその現代影絵劇はラリー・リード本人のフィルムメーカーとしての経験を生かし、シンプルながらも効果的な手法を使い、現在まで様々なアーティストとのコラボレーションによる多くの作品を生み出している。

OKI (オキ)

アサンカラ(旭川)アイヌの血を引く、カラフト・アイヌの伝統弦楽器「トンコリ」の奏者。アイヌの伝統を軸に斬新なサウンド作りで独自の音楽スタイルを切り拓き、知られざるアイヌ音楽の魅力を国内外に広めてきた稀有なミュージシャン／プロデューサー。

オキはトンコリの限界と可能性の中で試行錯誤を繰り返し、1995年に発表した初のアルバム「カムイ コル ヌプルペ」から2007年の「ダブ アイヌ バンド ライブ イン ジャパン」まで、12作品を発表してきた。2005年には伝統曲と正面から向き合い、トンコリだけで録音、制作されたアルバム、「トンコリ」を発表。また、アイヌの天才的歌手・安東ウメ子の2枚のアルバムでは演奏とプロデュースを手がけ、現代に息づくアイヌ音楽として高い評価を受ける。

2005年以降アジア、米国、ヨーロッパなど世界各地をツアーし、世界最大規模のワールドミュージック・フェスとして知られるWOMADへも参加。日本国内でも数多くの音楽フェスティバルに出演。2010年にトンコリの生まれ故郷サハリンを訪問、アルバム「サハリンロック」を発表。2011年の東日本大震災、原発事故を機に新しい表現のあり方を模索し、全国54箇所ある原発を訪ねるプロジェクトを開始した。

小谷野哲郎 (コヤノ テツロウ)

バリ仮面舞踊家、ガムラン集団「ウロツテノヤ子」主宰、日本インドネシア芸術文化交流オフィス「ジュクン・ミュージック」代表。東海大学大学院音響芸術専攻修了後、1995年～96年にインドネシア共和国政府給費留学生としてインドネシア国立芸術大学に留学。バリ島で数々のマスター達に師事。亜細亜大学ガムラン研究会の卒業生達と共に結成したガムラン集団「ウロツテノヤ子」は、バリ古典音楽の演奏のみならず日本の様々なジャンルのミュージシャンとのコラボレーションにより、ガムランを単なる民族楽器にとどまらない次元に押し上げた。近年では舞踊や芝居、影絵などバリの伝統芸能に学びつつ、総合的バリ芸能集団として全国で活躍している。

個人としては、東南アジアのトップアーティスト達による劇団「Teater Cahaya」(シアター カハヤ)の主要メンバーとしての活動や、仮面舞踊家として狂言師野村万乃丞の仮面プロジェクトに度々参加。また、日本のコンテンポラリーパフォーマンスの旗手「パパ・タラフマラ」の作品にも客演するなど、ジャンル

を超えたプロジェクトに参加することも多い。2000年にはバリ島の伝統芸能支援のためのオフィス「ジュークン・ミュージック」を立ち上げ、バリや日本でプロジェクトを展開。この活動が認められ、2005年在日本インドネシア共和国大使館より文化功労賞の表彰を受ける。日本とインドネシアをはじめとするアジア諸国の芸術文化交流のキーパーソンとして注目されている。

マレウレウ

アイヌの伝統歌「ウポポ」の再生と伝承をテーマに活動する女性ヴォーカルグループ。さまざまなリズムパターンで構成される、天然トランスの感覚が特徴の輪唱など、アイヌルーツのウポポを忠実に再現する貴重なアーティスト。マレウレウはアイヌ語で「蝶」のこと。

2010年、初のミニアルバム「MAREWREW」を発表後、活動を本格化。2011年に自主公演企画「マレウレウ祭り～目指せ100万人のウポポ大合唱！～」をスタートさせ、これまでUA、サカキ・マンゴー、SPECIAL OTHERS、キセル、オオルタイチ+ウタモ、木津茂理、細野晴臣をゲストに迎えた公演が話題となる。また、SPECIAL OTHERSのコラボアルバム「SPECIAL OTHERS」に、アイヌの伝統歌「イヨマンテ・ウポポ」で参加。ほかにもNHK(Eテレ)の人気子供番組「にほんごであそぼ」への出演、ワールドミュージックの世界的な祭典Womad(UK)への出演をはじめとするヨーロッパ公演など、国内のみならず海外でもその活動が注目されている。2012年8月には、待望のフルアルバム「もっというて、ひっそりね。」(プロデュース:OKI)をリリース。現代的なアレンジを織り込みつつも伝統的なウポポの魅力を凝縮した作品は、各方面で高い評価を受けた。

公演チケット: \$10～\$35

申し込み先: <http://www.brownpapertickets.com/event/520698>

\$15: プレビュー(1/15)

\$35: オープニング(1/16、公演後のレセプション込)

\$25: 一般価格 (1/17-19)

シニア/学生はパフォーマンス1時間前より\$15

18歳以下一律\$10

グループ割引あり。

お問合せ:(415)648 4461 (担当:Sachiko Willis [サチコ・ウィリス])

以上

FACT SHEET
PORO OYNA: THE MYTH OF THE AYNU

<http://www.shadowlightaynuproject.org/>

- WHAT:** **PORO OYNA: THE MYTH OF THE AYNU**
The West Coast Premiere of a new shadow play illuminating the indigenous Aynu culture of Northern Japan
- WHO:** Adapted by **OKI** and **Koyano Tetsuro**
Directed by **Larry Reed**
Original Soundtrack by **OKI**
Art Direction by **OKI**
Shadow Design by **Kawamura Koheisai**
Live music by **OKI** and **Marewrew**
Shadowcasting by **Urotsutenoyako Bayangans** (Kawamura Koheisai, Uehara Aki, Watanabe Takashi)
- WHERE:** **Southside Theater**
Fort Mason Center, Building D
2 Marina Boulevard (at Buchanan Street)
San Francisco, CA
- WHEN:** **January 15 – 19, 2014**
- ❖ Wednesday January 15 at 7:30 PM (Preview)
 - ❖ Thursday, January 16 at 7:30PM (Opening)
 - ❖ Friday, January 17 at 8:00PM
 - ❖ Saturday, January 18 at 2:00PM and 8:00PM
 - ❖ Sunday, January 19 at 2:00PM
- Special Events**
- ❖ Thur, Jan 16 at 10:30AM: Matinee for the SF public school students
 - ❖ Thur, Jan 16: Pre-show blessing ceremony by the Karuk tribe of Northern CA
 - ❖ Fri, Jan 17 at 7PM: Pre-show panel discussion (subject & participants TBA)
 - ❖ Sat, Jan 18: “sing-off” between the Karuk and Aynu singers after each show
 - ❖ Sun, Jan 19: Family Day. During the Fort Mason Farmers’ Market (exact time and content TBA)
- TICKETS:** **\$15 – 35. Begin Sales on Monday, December 9, 2013**
Tickets and Info: <http://www.brownpapertickets.com/event/520698>
- ❖ Senior, Student and Group (10 & more) discount available.
 - ❖ Show appropriate for ages 8 and up.
 - ❖ Discount available for children under the age of 18.
- WEBSITE:** <http://www.shadowlightaynuproject.org/>
- PRESS CONTACT:** Sachiko Willis, Managing Director
(415) 648 4461; Sachiko@shadowlight.org